

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103417
法人名	株式会社メディックス
事業所名	パートナーハウスこすもす
所在地	愛媛県松山市高井町7 2 4 番 1
自己評価作成日	平成22年8月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年8月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご家族・地域と仲良く入居者を支えていること。タクティールケア、くもん学習療法等、少しでもいいと思われる事に積極的に取り組んでいること。また他の事業所と交流し切磋琢磨していること。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

地域の行事予定等を回覧板から知り得たり、町内会長からを教えてもらっており、8月には町内の夏祭りに、利用者と職員で参加された。利用者の中には、地域の方達と一緒に輪に入って盆踊りを楽しまれた方もいる。法人全体で行われる恒例の「納涼祭」では、バザー等もされて、地域の多くの方が来られた。今年の納涼祭には、町内会長のご協力により地元のちびっこ兄弟による三味線コンサートが予定されている。調査訪問時、法人部長は「グループホームは地域にとっての資源」であることを話してください、日頃から、地域の婦人会や小学校等で認知症や介護について講演をされ、認知症に対する理解を深め、グループホームをより知ってもらえるように活動されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地域の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 パートナーハウスこすもす

(ユニット名) Cユニット

記入者(管理者)

氏名 寺尾 洋子

評価完了日 平成22年 8月 10日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「あるがままを笑顔で支える・・・家族と共に、地域と共に」を、皆で支えていくことをより強く思える理念とし共有している	
			(外部評価) 開設時から「家族・地域社会との交流支援」等、4つの理念を掲げておられ、利用者の「あるがまま」を支えられるよう取り組みをすすめておられる。理念は各ユニットに掲示して、職員は日々のケアを確認されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域のお祭りや、清掃作業に参加したり、こちらの納涼祭に来ていただいたり、運営推進会議に参加していただいたり、積極的に交流している	
			(外部評価) 地域の行事予定等を回覧板から知り得たり、町内会長からを教えてもらっており、8月には町内の夏祭りに、利用者と職員で参加された。利用者の中には、地域の方達と一緒に輪に入って盆踊りを楽しまれた方もいる。法人全体で行われる恒例の「納涼祭」では、バザー等もされて、地域の多くの方が来られた。今年の納涼祭には、町内会長のご協力により地元のちびっこ兄弟による三味線コンサートが予定されている。調査訪問時、法人部長は「グループホームは地域にとっての資源」であることを話してくださり、日頃から、地域の婦人会や小学校等で認知症や介護について講演をされ、認知症に対する理解を深め、グループホームをより知ってもらえるように活動されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症キャラバンメイトの資格をとり、地域の方にサポーターになっていただく為に、地域ごとにお話をさせていただき、認知症の理解をひろめている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方や家族、また介護保険課の方々にいろいろな 意見等を出していただき、日々のサービスに活かして いる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議には、町内会長や民生委員の方にも参加をいた だき、事業所の現状を報告されたり、歯科医や歯科衛生 士を招き「口腔ケア」や「誤嚥性肺炎」についてお話 しをしていただくこともある。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>社内研修等にもご協力いただいたり、よく連絡をとり あって運営に生かしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、避難訓練について報告した際には市 の担当者から「火が出るとしたらどこから出るのか、 職員で話し合ってみてはどうか。」等のアドバイスを いただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>どんな状態にあっても、一切身体拘束は行わないこと に徹底している。玄関も常にオープンである</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>「娘や孫に会いに行く。」と出かけられる利用者 には、一日に何度も職員が付き添って出られており、今 夏の猛暑時には、ご本人の体調等にも考慮して、車で 出かける等、ご本人の気持ちを「ありのまま」受け止 めて支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者はユニット内を常に把握するよう努めており、必要に応じ指導を行っている。また順次講習を受けて、ということが虐待にあたるかを学び、日ごろのケアの中で、より慎重に防止に努めている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 社内研修・外部研修で学び、全員が理解し説明できるよう努力している	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の際ご家族は、ご夫婦、ご兄弟等複数で説明を聞いていただくようにして、十分納得の上で締結するようにしている	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族とも、より親しくなってきた。率直な意見を言っていただけになった。但し人事に関しては、ご要望に応じかねることもある (外部評価) 毎月、こすもす便りをご家族に送付されており、便り中で、行事の様子や予定と、利用者個々に身体の状態や日頃の様子、暮らしぶりを記すようにされている。現在、事業所はご家族の来訪が多くあるようで、気付いたことを言うてくださるご家族もあるが、「お任せします」と言われるご家族も多いようだ。	事業所では「ご家族だけで話ができるような機会」を設けたいと考えておられた。たとえば、評価結果や家族アンケートの集計表を活用されて意見を引き出したり、食事の内容や感染症対策、職員の異動や職員の伝達の仕組み、服薬管理や居室等の掃除等、事業所の取り組みを伝えて、意見や要望をお聞きしてみてもどうか。いただいたご意見を職員で話し合い、事業所のさらなるケアの質向上への取り組みにつなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			法人全体の週報を発行し、事業本部や管理者への意見・提案を募っている。またユニット毎のミーティング・全体会議を行い機会を作っている	
			(外部評価)	
			3月に法人内で管理者の異動があった。法人部長や管理者は、日々職員の意見を聞くよう心がけておられる。職員より、利用者がより安全に浴室に出入りができるよう「浴室の入り口に手すりを付けてはどうか。」との提案があり、手すりが設置されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者は頻繁に事業所を訪れ、細部にわたり把握され、職員にこえ掛けされる。さらに定期的に労働条件を見直し、働きやすい職場環境となるよう最善を尽くされている	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			社内に教育研修部を設け、社内研修・外部研修・資格試験のサポート等職員のスキルアップを図っている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			タクティールケア、くもん学習療法、運営推進会議等を通じて、他の事業所と交流し、お互いが向上していく体制をつくっている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用開始前から信頼関係づくりに努めている。ご本人、ご家族が安心して利用できるよう、納得いくまで話あって、本当に喜んで入居していただけるよう最善をつくしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居の申し込みをされた段階から、ご家族の思いを聞き、さらに利用開始の時点でより深く話し合いパートナーとして、一緒に悩み、喜びあえるような関係づくりを目指している</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要としている支援の中で、優先順位で対応し、しかもトータルにご本人にとって、なにが必要なのかをご家族と職員とで考え支援する</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>時に先生になったり、生徒になったり、それぞれ得意な分野で手伝ってもらったり、教えあったり、共に支えあうという関係づくりをしている</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族はゲストではなくパートナーとしてお迎えし、一緒に支えていくという関係作りをしている</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>いつでも面会できたり、行きたい所へいけるよう支援している</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>管理者は「利用者個々の希望に応えるような取り組みをすすめていこう」と考えておられた。利用者ご本人から「行きたいところ」を引き出して、出かけられるよう支援されており、南予までお墓参りに管理者と行かれた方がいる。又、「入居前に、毎月参っていた隻手薬師をこれからも毎月参りたい」と希望される方があり、今後、どのように支援していくか検討されていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) テーブルの位置を変えたりして、関わるグループに変化をつけたり、職員が間に入り、孤立したり、もめたりしないよう支援する	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 時々連絡をとり状況確認をし、いつでも相談に応じることをお伝えしている	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 可能な限り、ご本人の思いに添えるよう支援している。意志疎通の困難な方でも、できる限り理解するよう努力している。	
			(外部評価) 事業所では「くもん学習療法」を導入しておられ「利用者とゆっくりと関わることのできるコミュニケーションのひとつの手段」として捉え、数名の利用者が取り組まれている。学習時には、利用者一人に職員が一人付いて行っておられ、職員が、ご本人のことを知る機会にもなっているようだ。	現在取り組んでおられる「くもん学習療法」で得た情報等も採り入れアセスメントの充実を図り、個別で細やかな支援を目指していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族・担当ケアマネージャー・サービス提供責任者等から詳しく聞き取り、今後の生活に生かしていけるよう配慮している	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ケアマネ・リーダー・看護師・介護職をまじえたミーティングにおいて、常に現状の把握に努め、その時々でケアプランの見直しをしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			ミーティングにおいて、皆で介護計画を見直しながら、その時点での最善と思われるプランで、本人・家族と話し合い計画を作成している。	
			(外部評価)	
			計画は、半年ごとに見直すようになっている。計画作成時には、ご本人とご家族の希望をうかがい、各ユニットごとに計画作成担当者と職員全員で話し合い作成されている。時には、話し合いの場に、利用者ご本人に同席していただくようなこともある。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			他者に伝わる記録を心がけながら記録し、職員が情報を正確に共有した上で実践出来るよう、又問題点が発見しやすく見直しに役立つよう工夫している	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			常に化する利用者に対して、柔軟に対応している。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			市の職員、民生委員、消防署員、美容師等さまざまな方に関わっていただき、日々心豊かに安全に暮らせるよう支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族の希望する医療機関へ受診、または往診にきていただいている。また24時間対応の医療機関とも連携し万全を図っている</p>	<p>主治医の変更等については、ご本人やご家族の納得のいくよう話し合いや検討を重ねていかれてほしい。又、ご家族等の心配ごとや不安等についても聞き取り、十分話し合い決めていかれてほしい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>定期受診は、看護師資格を有する職員が同行されているが、ご家族が付き添われることもある。今年4月に事業所の近くに診療所が開設したことで、運営推進会議時等に診療所の医師が説明に来られる等、24時間対応可能ということもあり、安心のためもあって、事業所からも利用者のかかりつけ医の変更を促している。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎朝の申し送り時や、その都度必要に応じ、介護職から看護師へ報告や相談をする。看護師は受診時、往診時に付き添い情報提供して支援する</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>頻繁に病院を訪れ、主治医や看護師と情報交換を行い早期退院を目指す。病院からの入居相談にも尽力し、いい関係をつくっている</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護において努力はするが無理はしない方針を常日頃からお話しして、看取りや医療への転換についても理解しあえている</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入居契約時に、事業所での看取り支援について、ご希望があればできることをご家族に説明されている。ご家族の中には「事業所で最期までお願いしたい」と希望される方も複数あるようだ。看護師資格を有する職員が日々、職員にアドバイスされたり、事業所で緊急時の救急救命法の講習等も行っておられる。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護において努力はするが無理はしない方針を常日頃からお話しして、看取りや医療への転換についても理解しあえている</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入居契約時に、事業所での看取り支援について、ご希望があればできることをご家族に説明されている。ご家族の中には「事業所で最期までお願いしたい」と希望される方も複数あるようだ。看護師資格を有する職員が日々、職員にアドバイスされたり、事業所で緊急時の救急救命法の講習等も行っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署の協力を得て、救急救命の講習を社内で行い、すべての職員が救急時に対応できるように訓練している	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回消防署の協力で、消火・通報・避難の訓練を行っている。全職員と全入居者で万が一に備えている。町内の方、民生委員の方々とも協力体制ができている	地域の方が避難訓練に参加して下さっておられるが、今後は、いざという時に実際に協力していただけるような体制を具体的に築いていかれてほしい。又、2階からの避難方法についても実際に職員が体験してみるような機会も作って感想や課題、不安に思うこと等を出し合ってみてはどうだろうか。利用者・職員の安全、安心に向けて取り組みを具体的にすすめていかれてほしい。
			(外部評価) 年2回、夜間想定で避難訓練を行っておられる。訓練は、町内会長が事業所近隣のお宅に声をかけてくださり、数名の方の参加をいただいた。事業所では、この1年の間に消防署への自動通報装置を設置され、スプリンクラーも整備された。又、コンセントの壊れや綿埃り等にも注意して「絶対に火を出さない」よう日々心がけ点検されている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 立派な人生を歩まれた大先輩として尊敬し、一人一人それぞれに配慮した声かけや対応に心がけている	
			(外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者に声かけする時、ご本人の傍で、姿勢を低くして目線を合わせて話かけておられた。又、職員が利用者に目薬やお薬を手渡して、ご本人がご自分で点眼したり、服用できるよう見守ったり、サポートされている様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 優しく、分かりやすく話しかけることによって、ご本人が思いを伝えやすい雰囲気作りを心がけている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ユニットケアの良さを出せるよう、自由にその人その人のペースで過ごしていただいている。買い物に行きたい、カラオケしたい等のご希望にも柔軟に対応できるよう努めている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的に美容師にきてもらい、楽しく会話しながらおしゃれを楽しまれている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 匂い・音を感じていただきながら食事作りをしている。出来る方には片付けを手伝ってもらったりしている	
			(外部評価) 食事作りを行うことでの「利用者間のトラブル」や「調理時間の短縮」等の理由から、現在は、業者でメニューの決まっている加工された食材等が届くようになっている。利用者から食べたい物のご希望があった時には、食材の注文を止めて、利用者とともに買い出しに行き、ご希望のメニューを職員が作られることもある。テレビを見ている利用者同士で、料理番組を見て野菜が映ると「なすは美味しいよね」「麹漬けが大好き」「ゴーヤは苦くて食べられん」等と話をされていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士のつくったメニューを使い、バランスのとれた食事作りをしている。一人ひとりの状態に応じて調理を変えている	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 一人ひとりの能力に応じた口腔ケアに心掛け、定期的に歯科医にチェック・指導をしていただく体制をつくっている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
			それぞれのパターンを把握し、声かけ・誘導にてトイレで排泄することを基本としている		
			(外部評価)		
			排泄の記録を取り、声かけや誘導をしてトイレで排泄できるように支援されている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
			きちっと食事や水分をとること、適度な運動をする事、それぞれの決まった時間帯にトイレに座ることなどに努めている		
			(外部評価)		
			毎日声かけさせてもらい、本人の希望にそった時間で入浴していただく。自己決定できない方は、状態に応じて支援させていただく		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
			ご希望で、起床後すぐに入浴される方がおられる。利用者から「脱衣室が暑いのでエアコンを付けてほしい。」との要望があり、脱衣室にエアコンを設置しておられた。入浴後、涼みながらゆったりと着衣ができ、利用者は喜んでおられるようである。		
			(外部評価)		
			出来る限り離床時間を長くすることを意識しながら、一人ひとりのその時々状態に応じて、休息していただく。夜も個々のペースで休めるよう支援している		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状態に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
			出来る限り離床時間を長くすることを意識しながら、一人ひとりのその時々状態に応じて、休息していただく。夜も個々のペースで休めるよう支援している		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬状紙で理解できる様にしている。社内研修においても薬の理解、服薬の理解を学んでいる。状態の変化を見逃さないよう支援している	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 体調に合わせて、出来ることを一緒にしたり、自分の役割を持つてる方もいる。リクエストによりカラオケをしたり、ドライブやお買い物に出かける	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 庭を散歩したり、遠くへドライブしたり、買い物に行ったりしている	
			(外部評価) 近くのコンビニへおやつ等を買いに出かけたり、遠出がむずかしい利用者には、庭に出て外気に触れる機会が作れるよう支援されている。7月には「おすしが食べたい」という利用者の希望で、ユニット全員で回転寿司を食べに行かれた。又、天候が良い日に、全ユニットの利用者で白猪滝に出かけられた。ユニット毎に博物館や公園、郊外のショッピングモールへも出かけられている。外出時には、普段使用されない方用にも車椅子を準備されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 全員ではないが、出来る方は自己管理をさせていただいている。中には、使わなくても持っているだけで、安心と満足を感じている方もおられる	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 自由に電話をかけていただく。ご自分で出来ない方はお手伝いし、取次ぎも随時行い交流支援をする。手紙を書かれる方もいらっしゃる	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有空間は、清潔と家庭的雰囲気を心がけ、花や飾りも季節感を大切に变化をつけている	
			(外部評価) 調査訪問時、利用者と職員でトランプをしたり、新聞を読んでいる利用者の様子がうかがえた。畳コーナーでは、体操をされたり、お昼寝をされる利用者もおられる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居室でゆっくり自由に過ごしたり、ホールで気の合う仲間と語ったり出来るよう、環境整備を図り支援の工夫をしている	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものを配置し、中にはベッドまで持ってこられる方もいる。時々配置を変えたり、好みのソファーを買い足される方もいる	
			(外部評価) 掃除は、ご本人と職員で行っておられる。毎日、布団の上げ下ろしをご自分でされる方もある。下着を手洗いして、居室内に干しておられる方もあった。観葉植物を置いて、水やりをしておられる方もある。ポットやカップを置いて、お好きな時にお茶を飲まれる方もある。裁縫道具を持って来られて、ご自分でボタンを付け直される方もある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 完全にバリアフリーにしており、手すりも十分に設置してある。トイレやお風呂も、一人ひとりの状態に応じて選べるようになっている	
			(外部評価)	